

ノイエスだより

ノイエス朝日
(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町73-5
 TEL 027-255-3434
 FAX 027-255-3435
<https://www.neues-asahi.jp>
Communication House
NEUES
 ASAHI

三冊にもなった住所録を一冊に整理しようと持ち出して「あ」から消し込みを始めてみると横線を引く故人や音信不通になった方の多いことに年月の経過を感じました。そう思ってみても横線を引くたびに一人一人の顔が思い浮かんできます。日々どれだけの人の顔がちらつくことか・・・。

画家の梅原龍三郎が「生者は死者の為に煩わさるべからず」と言い、数々のコレクションや自作を美術館や博物館に寄贈して身辺をサッパリとして、机の上には数本のウイスキーとバラの花があっただけとか。白洲正子が訪ねた時「年をとってからは、よく死ぬことを考えたが近頃は死ぬことも忘れてしまった」と笑っていたそうです。

長年、愛用していた身近な物や思い出深い品々、そして蔵書の数々を手放すには大きな決心が必要です。なければ生活に困るわけでもなく、いつかは処分しなくてはと思っっているうちに突然処分できなくなるといふ状況になるかもしれないと思いました。そんな事を友人に話したら、その時はその時だと勝手なことを言っていました。

それもそうだと思っても迷惑はかけられないと一週間ごとに二〜三のものを処分したりしています。処分話の後に「ふる本市」というものなんですが、今年もノイエスで八月二十日(水)〜二十七日(水)までの八日間の短い期間「ふる本市」を開催します。一冊買ったなら二〜三冊処分してといった具合にしています。

珍しい書籍が安価で出ますので、是非涼しいノイエス朝日でゆつくりお過ごしください。

先月、映画「国宝」を見てきました。吉田修一原作の映画化です。任侠の一派に生まれ数奇な運命を生き、国の宝となった人物と、歌舞伎役者の家に生まれた人物との対照的な生きざまが描かれています。

二人が舞う「二人藤娘」と「二人道成寺」の見事な踊りと美しさに驚きました。幼少期に真似事で習った踊りや三味線の音や舞台の板の感触が忘れられないのは不思議です。舞扇の開閉音も魅力的です。久しぶりの映画でしたけれど三時間はあつという間でした。

幼少期の記憶は深く、最近の記憶が薄いのには脳の老化なのかと少しは心配になりますが年齢相応のことだと思ふことにしています。

絵画を見たり、音楽を聞いたり、本を読んだり、散歩をしたり、そしてコミュニケーションを楽しんだり。

ノイエスでお待ちしております。

(武藤)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

ノイエスふる本市

〈企画〉

会期 八月二十日(水)〜二十七日(水)
 午前十時〜午後五時(最終日は午後四時)
 会場 ノイエス朝日 スペース1・2

油彩画グループ

第31回 金曜会展

会期 九月二日(火)〜四日(木)
 午前十時〜午後五時
 会場 ノイエス朝日 スペース1・2

出品作家

岡本美智子 狩野三重子 桑原榮子

佐藤恭子 塩谷充代 角田邦子

賛助出品

島崎庸夫先生

連絡先 桑原榮子 ☎0279・54・7268

齋藤赤山書作展

〈企画〉

仏への祈りと万葉のこころ

会期 九月六日(土)〜十四日(日)
 午前十時〜午後五時
 会場 ノイエス朝日 スペース1・2

二〇二二年に続きノイエス朝日で二回目の展覧会です。今回も、仏への祈りと万葉のこころをテーマに新作を含め約一五〇点を展示いたします。皆様のご来廊をお待ちしております。

飯出製袋市

暮らしの挽物工芸展

〈企画〉

会期 九月二十日(土)〜二十八日(日)
 午前十時〜午後五時(最終日は午後四時)
 会場 ノイエス朝日 スペース1・2

作家は、ロクロと出合い六十七年になり、そして数々の種類の木に出合い、櫛丸盆や枳盛器、椀、茶托、茶筒。そして藁をはじめとする茶道具や茄子の形をした調味料入れなどを制作してきました。日常使う器や道具にはシンプルでありながら使い込むほどに味が出てくるものがあります。飯出氏の作品には、木を知りつくした知識と愛情が感じられます。素材から成形し、漆を施す根気のいる仕事を続けてこられた飯出氏の作品の数々をご覧ください。



塩地菓子器

ノイエス朝日夏期休暇のお知らせ

八月九日(土)〜八月十七日(日)

*「ふる本市」は、八月二十日(水)からですがスタッフは展示作業のため八月十八日(月)より出勤していません。ご用の方は、お電話ください。

ノイエス朝日

☎027・255・3434

(午前九時〜午後五時)

